



総合振興計画基本構想の施策

V

# 心ふれあうまちをつくる

市民参加を積極的に促進するとともに  
みんなで助け合う心豊かなまちづくりを進めます



### ●コミュニティの支援

市民による自主的な活動を支援するとともに、コミュニティリーダーの養成に努めます。

また、地域活動やボランティアに関する情報をネットワーク化し、仲介機能の充実を図ると同時に、こうした活動の拠点となる施設の整備を支援します。

### ●積極的な市民参加の促進

市民参加を促進する前提として、行政は市民に対し情報を公開するだけでなく、積極的に提供し、その説明責任を果たすことで、共にまちをつかっていく“信頼の礎”をつくります。その上で、広聴機能を充実し、さらに多くの市民の意向をくみ上げる仕組みを導入しながら、日常的に市民と行政が関わりを持つ機会を増やし、より良いパートナーシップ\*づくりを努めます。



この中で、計画策定の段階から市民の知恵を積極的に活用するシステムを構築します。

### ●人権の理解と交流の推進

だれもが平等に社会へ参画し、安心して生活ができる「人権尊重のまち行田市」を実現するために、『人権教育のための国連10年行田市行動計画』に基づいて、人権に関する教育と啓発を推進します。

学校、企業やコミュニティにおいて、男女共同参画社会\*の実現に向けた啓発を推進するとともに、雇用環境や子育て環境の整備、地域活動など、暮らし全体における女性の支援を行います。

学校教育における国際理解教育や英語教育を充実するとともに、日常生活の場面で外国人との交流の機会を増やし、真の理解を促進します。

また、市民としての外国人に対する行政サービスや情報提供の充実も図ります。



## 構想推進のために

1

### 効率的な行政の推進

自立的で柔軟な発想を持つ職員の育成に努めます。

また、評価システムを導入し、市民にわかりやすい行政運営に努めます。同時に、市民が実際にまちづくりに参加できるシステムを構築し、民間との連携を積極的に推進することで、より効率的な行政運営を行います。

地域情報化の推進については、市内の公共施設や機関を情報ネットワークで結び、さまざまな行政サービスの利用を容易にして、市民の生活の快適性や利便性の向上を図ります。

さらに、将来的な市町村合併も視野に入れた広域ネットワークの充実や事務事業の共同化などを図り、広域行政を推進します。

2

### 適正な財政の運営

行政コスト削減に努力するとともに、民間との積極的な連携を進めながら、事業の優先度を明確にした計画的な財政運営に努めます。

また、的確な課税客体の把握に努めるとともに、さまざまな公共サービスの料金について、受益者負担の原則に基づき、適正化を図ります。

### <用語解説>

#### NPO(エヌ・ピー・オー)

Non Profit OrganizationあるいはNot-for-Profit Organizationの略。福祉、環境、災害、国際交流など、さまざまな問題意識に基づいて、収益を目的とせずに活動する民間非営利組織。

#### 環境ホルモン

外因性内分泌かく乱化学物質。環境の中にあつて、人間の体の各器官の働きを調整するホルモン(内分泌物質)を乱す化学物質。ダイオキシン、DDT、PCB、有機スズ化合物が代表的。

#### 合併処理浄化槽

し尿だけでなく台所や風呂などの生活雑排水も一緒に処理する浄化槽。集合処理方式ではなく、個別の汚水を処理する。

#### グローバル化

個人、企業、団体など、さまざまな主体が国の枠組みを超えて広く合理的な選択を求めて行動しようとするところから、地理的に広範な市場やネットワークが進展し、また、個々の立場がその流れから影響を受けるようになる過程。

#### ダイオキシン

プラスチックの焼却や紙の塩素漂白などの過程で発生し、環境の中で分解されにくい有機塩素化合物の総称。大気や水、食物を通して、生物の体内に入り、蓄積される。催奇性や発がん性、免疫毒性がある。

#### 男女共同参画社会

男女が社会の対等な構成員として社会のあらゆる分野の活動に参画する機会を確保し、男女が均等に利益を享受するとともに責任を担う社会。

#### 中核的農家

経営耕地面積が原則として1ha以上の農家で、意欲的に営農を行っている農家。

#### 農業集落排水施設

農業集落におけるし尿、生活雑排水などの汚水等を処理する施設であり、おおむね20戸以上、1,000人程度までを対象とする。農業振興地域において、農業用水の水質保全や農業用排水施設の適正な機能維持、農村における生活環境の改善、公共用水域の水質保全を目的として整備される。

#### バリアフリー化(barrier-free)

障害者や高齢者の社会生活の妨げとなるものを物理的に除去すること(建物内や歩道の段差解消、点字ブロックの整備など)、また、社会的に除去すること(各種の制度や人々の意識など)。

#### パートナーシップ(partnership)

問題解決のために、企業、非営利のグループや市民、行政が、役割を分担し合い、協力すること。

#### ふるさとの川モデル事業

さきたま調節池事業にあわせ、旧忍川を親水性に富んだ水辺空間として整備しようとする計画。

#### ローリング方式

複数年度にわたる計画を毎年見直し、財政状況などを勘案しながら、実効性のある計画に補正していく方式。本市は3年を計画期間とする実施計画を毎年見直ししている。